

No.	令和4年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ ある 順調 で	やや 遅れ て	遅 れ て い る	
1	「安定した経営努力」			○		令和2年より新型コロナウイルス感染症が流行し、いまだに福祉医療に大きな影響を及ぼしており、コロナ感染の影響が出る前の水準に戻ってきていないのが現在の状況です。又、令和4年度の経営の大きな影響としては、特に物価高騰により、水道光熱費他の値上がり施設経営に大きな影響を及ぼしています。 新型コロナの感染症法上の位置づけが令和5年5月8日から「2類相当」から「5類」に移行する方針が決定されました。令和4年度の新型コロナウイルス感染症の補助金交付については、前年度より少なくなっているために、令和4年度の法人全体のサービス活動収益は新型コロナウイルス感染症の影響があったが法人全体の収支はわずかであるがプラスとなっています。しかし、令和4年度においては安定した経営には至っていない。又、新型コロナウイルス感染症が終息に向かいつつあるが、今後も物価高騰が続くと思われ、特に水道光熱費の高騰は施設経営に大きな影響を与えることが心配されます。しかし、これからも法人全体で安定した稼働率の維持をして経営努力をしていかなければならないと考えてます。
	①安定した収入の維持、確保			○		・令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症等の補助金交付があったためにプラス計上となり、令和元年より3年間プラス計上となっている。令和4年度では、物価高騰などがあり安定した収入の維持、確保ができなかったものの、わずかですがプラスとなった。今後においても、施設の整備等があることから法人全体として安定した稼働率の維持が必要となります。
	②関係施設間の連携及び情報収集		○			・神栖支部・東村山支部での支部会等で連携や情報収集を積極的に実施しているが、さらなる経営につながるような連携や情報収集を図っていき、地域社会に信頼される法人・施設を目標としていきます。
	③目標となる計画の実行				○	・新型コロナウイルスの感染症の影響や現在施設での問題で、現在のところ財政改善計画の実行は進んでいない状況であり、今後は再構築を考えていかなければならない。
	④経費節減			○		・令和4年度については、水道光熱費等の高騰により費用増が発生しているために、さらに全施設において積極的に経費削減に取り組んでいく必要があります。
2	「地域における公益的取組を実施する責務」		○			・白十字会が目指す福祉・医療サービス等を安心・安全に提供できるように今後とも行政や協議会等と協力し合い、地域社会に貢献していきたい。さらには社会福祉法人としての責任を果たすべく地域のニーズに応えられるように努力していきます。
	①地域と連携し安全で安心できる施設づくり		○			・地域から信頼される安心・安全な施設をめざすために福祉・医療サービスのニーズに応じて地域と連携を図り、信頼される施設を目指していきます。
	②BCP(事業継続計画)の策定(災害発生時、感染発生時)				○	・令和6年3月31日までに作成しなければならない事業継続計画の策定ですが、現在、まだ策定されていない施設があるため、全施設が策定していくようにしていきます。
	③地域住民、関係機関との連携強化		○			・関係機関・地域住民と連携して支援を行っていきます。当法人の福祉施設等は災害時の地域の要援護者支援という役割が求められていることから、災害時には、一部の施設においては地域の避難所とし支援を行います。